

警城時報

刊日六廿
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 警城時報社
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一月金廿圓
廣告料一行十四字五十五錢
日刊日曜祝祭日登日休刊

愈々総合訓練に入る 実戦とながらの活躍

本格的防空訓練実施
縣立工校
内容内定
港灣協會總會に
小名濱港の陳情
第二期工事促進運動
小野町長以下上京

第一期訓練を終りて 平署から市民へ注意

防空訓練は二十六日から第一
第二期総合訓練に移つたが第一
期訓練を終えその状況を視察し
た平署では次のやうに今後の注
意を語つた
訓練第一期の状況は概して良
好であつた、警防團も各家庭
防空群も極めて張り切つた態
に開始された事は嬉しい、此
の緊張を以て訓練を継続して
貰ひ度いと思ふ
△警防團について 警防警報
の傳達状況は計画に基いて適
切に行はれた、警防團員召集
後は警報警報下しに於て必要
なる人員を勤務せしめ他の人
員は帰宅せしめるもので必要
以上の多数の人が本部に待機
してゐる御祭儀的の事は避
く可き事である、前より
良好であつた

衛生學上から云つても、壯丁
の中から選ばれた體格の持主で
あるからたとへ身に戦傷を負ふ
たとへ、立派な父親となり得る
事は勿論であります。
女にして立派な子供を産み、
それを丈夫に育てることほど幸
福な生活はない、而かもこれ

整形外科

平市大町二番地
内木外科醫院
醫學博士 内木宗八
入院隨時

職工及見習工募集

平市月見町
佐藤鐵工所
電話三六二番

十一屋食堂

平局前 電話三七三番
出前迅速
女店員・コック見習至急入用

電力を節約せよ 市役所から注意書

現の計画で平市建設委員は
の如く過般來應命な努力を致し
た結果大口寄附者である日立
山、警城、入山、古河等炭礦
係、平市出身三井炭一氏等より
相當大額な寄附承諾あり建設資
金の七十万圓は早晩決定される
模様である、而して平市當局で
内定したる定員二百名に
科目は採礦、冶金、電気、機械
で高等科卒業生を入学資格とし
修業年限三年である
大和田伍長
遺骨凱旋
去る八月八日滿蒙國境ノモン
ンで名譽の戦死を遂げた四倉町
仲町大和田龍次郎氏二男歩兵伍
長大和田茂君(二五)の遺骨は近
く原隊に無言の凱旋をなす旨通
知があつた

電力を節約せよ

電力及びガスの需要は昨今非常
に増加したが需要に應ずるには
供給を急激に増加せねばならぬ
の情勢であるが物資不足と稀有
の湯水のため不可能の事に就し
てゐるので平市役所では二十六
日左の如き注意書を各區長、學
校、官衛長、會社工場長に配布
し市民に徹底的に電氣ガスの節
約を奨励する事になつた
一早起早寝の習慣をつけること
二夜の買物を爲さざること
三計量器の有無に不拘左の方
法に便り節約を計ること
/居間の電燈は蓋を深めとな
し光に努むること
四常時使
用せざる部屋は可成小形電球
に替へる必要の時時は電球を働
けず電氣の消費を防止すること
五電球の消費を防止すること
六電球の可成小形電球とし
ては電球の蓋を深めとなし
又は電球を可成小形電球とし
ては電球の蓋を深めとなし
電球は全部取替すること
七ラヂオは必要以外ライツチを
切ること
八電氣ストーブ其の
電熱器具等は應て廢止すること
九瓦斯節約の方法一電氣節約の
民を感動させてゐる

奇篤な軍國婆さん

負傷を物ともせず
防空訓練に参加
柳原君寄附
陣中より
南支派遺軍
島崎三郎

満支慰問旅行手記

慰問使 篠山 廉
十月十日奉天驛にて
飛行機の旅
昨十日東京より初めて飛行機
に身をまかせたこととなる、乗
り度もあり又心中聊か不安
を感ずる、出発の前一行の舌の
大家作山紫山氏新東京を界とし
これより南滿、なんまん、
なんまん、南滿、なんまん、
と終幕をかつく、これがこの
世の目をさめかんと五十有八年
の幕も愈々終焉かと勇を鼓し
て機上の人となる、機いよい

四倉町民 体育大會

恒例四倉町民体育大會は来る十
一月三日の佳節を以て舉行す
るが二十一日打合せ會を開き當
日は出張家族及び戦病死者の遺
は色の催しがあるとのことで
す、先日隊では一週を祝して
演説、映畫の夕を催し多いに
意義あつた、先は近況まで不備
ろく、先は近況まで不備

映畫會

▲警察館(二十六日替り)
▲爆笑劇團(二十六日替り)
▲櫻木健一、高尾光子、夏目
初子、二村定一、中村是好共
演) △忍術百鬼合戦(極東超
作品 櫻木健一、高尾光子主
演) △ハリキリボーイ(東寶映
畫 古川緑波、杉寛、江戸川蘭
子共演) △あきれた連中(横山
エンタツ花菱アチャコ主演)
▲世界館(二十六日替り)
▲寄侍草(松竹大竹作品 高峰
三枝子、夏川大二郎主演) △
水戸の小天狗(大谷日出夫主
演) △鏡形平次捕物控(海江田
譲二)

中の處十三年度を以て工事完了
したので農林省水利課藤原技手
が十一月一日竣工検査のため來
郡する
四倉町民
体育大會
恒例四倉町民体育大會は来る十
一月三日の佳節を以て舉行す
るが二十一日打合せ會を開き當
日は出張家族及び戦病死者の遺
は色の催しがあるとのことで
す、先日隊では一週を祝して
演説、映畫の夕を催し多いに
意義あつた、先は近況まで不備
ろく、先は近況まで不備

十月二十七日 吉田松蔭祭 皇政復古の中心原動力

〔精勤通信〕吉田松蔭先生は、實次郎短方と申しました。長州萩の藩士で天保元年八月萩の城下松平村に生れました。家は世々兵學を修め、先生は幼よりして俊敏であつたが長じて兵法史籍に通じ全國を周遊し地理を明らかめ、勤王の大義を唱へ各地に奔走しました。

後に松下塾を起し青年同志を養育せられたのであります。遂に幕府の忌むところとなり獄に下ること四回、更に國禁を犯し外遊せんとし捕へられ、大原三位に時勢論を呈して大いに激賞せられたこともありました。その獄に下されて、問せらるるも屈せず遂に千住小塚原に斬られました。時年三十三。明治二十二年二月正四位を追贈せられ、山口縣阿武郡松蔭郷東分村に縣社松蔭神社として祀られてゐます。東京世田谷にも松蔭神社があります。

處刑の前日郷里に送られたる歌に「親恩ふ心にまさる親ごころ、今日のおとすれ何とさくらむ」と、これを讀んで泣かざるものは人にあらず、親も泣き、子も泣き、他人も泣く。偉人の本質は矢張り道義であり精神であることが明らかとなつた譯であります。

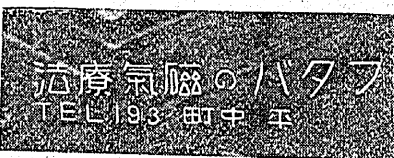
維新の元勳たる山縣公も伊藤公も井上侯も乃木將軍、高杉、大村の諸豪傑も皆な松蔭先生あつての英傑であり元勳でありました。明治維新の元勳たる松蔭先生が現下の時局に生きてゐられるならばと追慕する前に、先生の忠誠と愛國の大精神力を只今の私たちはこの現身に體感すべく力めやうではありませんか。

◎女車掌

(三名至急募集)
1. 未経験者に限る
2. 委細面談
3. 優遇す

平市二丁目
三井
タタシ
電話六八五番

強電力氣應用 神經痛に特效



コンボーク
塩豚
平市田町
三三三三屋
電話三三三番

干やなぎ

賣り始めました
平市土橋
丸仙商店
電話六二二番



開業

内臓外科
整形外科
平市大町二番地
内木外科醫院
醫學博士 内木宗八
入院隨時

御婚禮 御法事
御會食 御宴會
尚ほ季節料理
松茸そば 同 井
平市田町 電話一七一番
料理部

吸入用酸素純度99%

度量衡
モノサシ
ハカリ
マス
体温器
寒暖計
秤ノ取緒、錘糸、修覆致シマス
写真機
材料一式
關内藥局
電話四〇番

折鶴法造

お惣菜さつま揚・吉原揚
平市一丁目
三三三三屋
配達人入用 電話一四一番

移轉開業(九月二十日ヨリ)
耳鼻咽喉科 専門
増田醫院
平市紺屋町(吉田眼科前)
電話六五一番
増田之

内科外科 院長 安齋 徹
エックス光線
産婦人科 醫學士 小松千秋
平市田町(電話四五七番)
入院隨意
安齋醫院

平病院 元共濟病院跡
院長 醫學博士 鈴木 木定藏
内科 院長 鈴木 木定藏
小兒科 副院長 土井 利明
内臓外科 副院長 高橋 俊幸
一般外科 院長 鈴木 木定藏
皮膚泌尿器科 院長 鈴木 木定藏
物理療法科 院長 鈴木 木定藏
藥劑科 部長 吉本 孝平

小兒科
平市南町
志賀醫院
(入院ノ需ニ應ズ)
電話一六二番

漢方 生公華
貼藥 濕布で名藥
肋膜・氣管支・關節・神經痛・肺炎・ロイマチス...
平市五丁目
山野邊藥局